



国際会長メッセージ

親愛なるクラブメンバー、友人の皆さま

ワイズの今年度も5ヶ月目に入りました。エキサイティングで多忙な旅を振り返りたいと思います。先月は、世界YMCA同盟アクセラレーターサミットでケニアのモンバサに行く機会に恵まれました。このサミットへの招待は、世界のYMCAのリーダーたちにワイズ運動を紹介する貴重な機会となりました。フリップ・チェリアン YMCAリエゾン、ジョース・ヴァルギース国際書記長、ジェアード・ムシマ区理事そしてケニアのワイズメンの主要リーダーと共に、世界中の YMCA やワイズメンクラブメンバーと交流しました。本会議と閉会式でYMIを紹介し、相互支援の精神で共に働くよう呼びかけることができました。



モンバサでの新クラブ
設立ミーティング



アディスアベバにて、シフェロー・シグ
ティエ教育総局長（元教育・農業大臣）と会談



エチオピア・シグガ・クラブの新CP、
タリク牧師の就任式



アディスアベバにてエチオピア
正教会主教と会談

さらに、YMCAのリーダーたちとの特別ミーティングを開催し、15か所での新クラブ結成を検討し、YMI戦略2032とYMCAビジョン2030をサポートする方法について話し合いました。反応は上々で、世界中のYMCAからYMIとの協力に対する熱意が感じられました。旅行中、私たちはエチオピアも訪れ、シグガ・クラブを支援・強化するために現地の指導者に会いました。エチオピアYMCAと連携し、アディスアベバで新しいクラブのためのオリエンテーションを開催しました。2020年のYMIクラブ発足に重要な役割を果たした、元教育・農業大臣で現エチオピア教育総局長のシフェロー・シグティエ氏にも会うことができました、



世界YMCA同盟アクセラレーターサミット閉会式でスピーチするシャナヴァスカーン国際会長

インドでは、バンガロールでワイズメンとYMCAのリーダーと会い、ISD YIAのトーマス・J・ビジュが率いるYMCAとの共同作業である「青少年のスポーツと文化フェスティバル」の提案について話し合いました。私はこのような取り組みが、若い世代をYMCAの活動に引き付け、コミュニティを豊かにすると信じています。また、ドバイで開催される国際ユースコンボケーション (IYC) では、7エリアから75名のメンバーの参加者と会えることを楽しみにしています。今月は、アメリカに向かう途中で国際本部訪れ、ニューヨークでの新クラブのチャーターナイトに立ち会い、セントルイスで開催される奉仕クラブ・リーダー会議に出席する予定です。これらのエキサイティングなイベントの最新情報は次号でお伝えします。

会員増強100日間キャンペーンを積極的に推進されている指導者の皆様、本当におめでとうございます。皆さんの絶え間ない努力のおかげで、3,000人の新会員を迎え、100カ国に拡大するという野心的な目標に近づいています。私たちの力を合わせれば、これらのマイルストーンを達成できると確信しています。

心を込めて

A・シャナヴァスカーン
国際会長 (2024/25)



国際書記長

ジョース・ヴァルギース

11月、ジュネーブでは友人や家族と祝う冬のホリデーシーズンが始まります。A・シャナヴァスカーン国際会長とアドネ・ウェスネス ヨーロッパエリア会長をジュネーブ迎えることを楽しみにしています。彼らは、11月の第2週に短い滞在を予定しています。2人は、国際本部を訪問し、ジュネーブの新しいYサービスクラブの設立をサポートします。

11月は、BF、iGo、STEPの強調月間です。

BF支出委員会のイネタ・クルミナ委員長は最近、2025/26年度にBF代表を受け入れるよう、エリアと区のリーダーに呼びかけました。私たちは、彼女の呼びかけを再確認し、12月1日の期限までに[BF受入フォーム](#)に記入するよう、エリアと区に強く呼びかけます。ホストクラブは、BF基金への献金の有無にかかわらず、翌年BF代表としてクラブ会員を派遣する資格を自動的に得ます。また、本号のIPニュースに掲載された前田香代子BFプロモーション国際事業主任のBF情報メッセージに感謝いたします。

BFではモチベーションが上がらないという方には、TOFも検討すべき中核的な国際プログラムです。TOFは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿った地域社会に根ざしたプロジェクトに最高15,000スイスフランの補助金を提供します。教育、環境、健康に焦点を当てた持続可能なプログラムのアイデアをお持ちのクラブは、TOFの資金援助を申請してみたいはいかがでしょうか。毎年9月15日から3月15日まで、YMCA、YMCA関連団体、国際投票権を持つYMIクラブを対象に[TOF申請書](#)を受け付けています。

iGoプログラムの認知度を高めるために尽力してくれたK・ヴェンカテッシュ国際事業主任に感謝します。1月上旬までに1~2名のインターンシップ生を募集できることを願っています。STEPは18歳から25歳のユースが他国のワイズメン・ファミリーと短期(最長11週間)の文化交流を希望する場合のiGoに代わるプログラムです。ここでもこのプログラムをサポートするボランティアが必要です。ユースは、私たちの運動の未来であり、彼らの個人的な成長に強い関心を持つことが重要です。

さて、2024年11月5日から10日まで中東区のドバイで開催される国際ユースコンボケーションに、約75名のYMIユースリーダーが参加することになりました。インスピレーション、教育、楽しみ、親睦、奉仕など、思い出に残る機会になること間違いなしです。11月最後の週末には、クラブ会長(CPE)研究所のズーム・セッション「エクステンションと会員維持戦略」が予定されています。クラブ・リーダーのためのこのイベントに関する情報は引き続きご注目ください。

最後に、今月は「100日間会員増強キャンペーン」の最終月です。YMIを浸透させ、新会員を勧誘したり、新しいクラブを作ったりすることはできましたか？リニューアルされたYMI紹介の小冊子は、あなたの努力に役立つかもしれません。

BF代表の体験談



TOF活動の紹介

編集長から

編集長に、国際会長ニュースに関するあなたの考えやアイデアをお知らせください。

12月の強調月間テーマは、キリスト教強調、IBCです

以下をクリックして、11月15日までに記事を投稿してください。

[編集長へ](#)



モンバサ・世界YMCA同盟 サミットでのYMI



世界YMCA同盟アクセラレーターサミット本会議でワイズ運動を紹介するジョース国際書記長



香港中華YMCAに「持続可能な地球に関するYMCAインパクト賞」を授与するジョース国際書記長



YMCAアクセラレーターサミットとモンバサでのアフリカYMCA/YMIリーダー会議



世界YMCA同盟執行委員会とYMIのプロモーションブース

世界に手を伸ばすためのインターン制度 (iGo)

K・ヴェンカテッシュ iGo国際事業主任



Internships 4 Global Outreach



私は、iGoの国際事業主任の K. ヴェンカテッシュです。インド地域、南西インド区に所属しています。皆さんにメッセージを差し上げることを喜んでいますが、本年は全ての地域にとって幸先の良いスタートとなったことと思います。私たちは、組織のために絶え間ない奉仕を続け、指導者の階段をさまざまなレベルまで上ってきました。iGoの国際事業主任として組織に奉仕できることを光栄に思います。この職務は、比較的新しいものであり、私たち全員が学習過程にあります。私はすべての地域会長と区理事のメールアドレスを持っていませんので、この連絡は国際本部を通して行っています。私の任務を成功裏に遂行するため、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。地域会長と区理事は、iGoの地域事業主任、区事業主任を任命していることでしょう。私は、彼ら全員のメールアドレスを持っていませんので、すべての地域会長と区理事の支援を求めています。

このプログラムは、ユースのインターンシップを扱っています。地域外でのインターンシップに興味のあるユースは、それぞれの地域事業主任、区事業主任と連絡を取ってください。地域事業主任、区事業主任は、その結果を私に伝えて下さい。私は、国際本部と連絡を取り、必要な対応をいたします。そのためには、若者のインターンシップに興味を持ち、喜んで受け入れてくれる会員を特定する必要があります。また、興味のある若者を特定し、iGoプログラムについて知らせる必要もあります。これは、若者が世界の他の地域を旅行し、新しい知人を得、国際的な人脈を作り、世界の他の地域の文化や遺産について知る良い機会です。SWIR(南西インド区)のメンバーの一人、レジ.トーマスは、iGoの派遣先として)ユースのために自分の会社のサービスを提供してくれました。同様に、私は区理事と地域会長にインターンシップに関心のあるユース、機会を提供する意思のあるクラブ会員を特定するよう、それぞれの事業主任に依頼することを要請します。

すでに4カ月が過ぎ、あと数カ月しか残されていません。交流の時期は3月か4月に設定できると思います。相手のメールアドレスと携帯電話番号を入手したら、喜んでバーチャルミーティングをアレンジするつもりです。皆さんのご支援とご協力をお願いし、一緒にこのプログラムを実りあるものにしましょう。

感謝と敬意を込めて

K. ヴェンカテッシュ iGo国際事業主任



BF (ビルディング・フェロウシップ)

前田香代子 BF国際事業主任

11月はBF(ビルディング・フェロウシップ)の強調月間です。
BFについての理解を深めていただくため、国際事業主任が概要を提供します。

1) **目的:**ビルディング・フェロウシッププログラムは、2022年の国際議会で採択されました。以前(ブラザーフッドファンド)は、単に国際大会に会員を参加させるためのプログラムでしたが、現在は、親睦、旅行、研修、青少年育成に重点を置いています。

2) BF 助成金

2.1 旅行助成金

- BF 文化交流助成
- BF コンベンション助成
- 次期理事サミット助成
- BF 研修および指導者助成

2.2 ユース助成

- iGo 助成
- 国際ユースコンボケーション参加助成
- 国際ユースコンボケーションホストサポート助成

2.3 ADL 計算式によるエリア裁量リーダーシップ補助金

2.4 カーボンオフセット補助金または「グリーンプロジェクト」



3) BF 代表のホスト

2024年12月1日までに以下のフォームにご記入ください。

[Host a BF Ambassador](#)

4) BF代表の申請

申請書は2025年3月頃に国際協会から配布され、参加を希望する方は5月1日までに申請する必要があります。

[Apply for a BF Ambassador](#)

5) BF 表彰

クラブレベル表彰:

- BF 銅賞 - 2 点
- BF 銀賞 - 5 点
- BF 金賞 - 10 点
- BF プラチナ賞 - 20点

点数は、以下の実績に基づいて付与されます。

- 現金寄付 - 40スイスフランにつき1点
- 郵便切手からの換金 - 10スイスフランにつき1点
- 前年度のホストした BF代表ひとりにつき - 4 点
- 前年度に旅行報告書を提出BF代表ひとりにつき - 2 点

財政的支援を行い、BF代表を所属する区やクラブに受け入れることで、BFプログラムを支援してください。BFポリシーでは、クラブへの寄付とBFアンバサダーの受け入れに対して賞を授与しています。クラブが獲得するポイント数が多いほど、会員がBF助成金の対象となる可能性が高くなります。BFについてさらに詳しく知ることができます。こちらをご覧ください。 - [Building Fellowship](#)

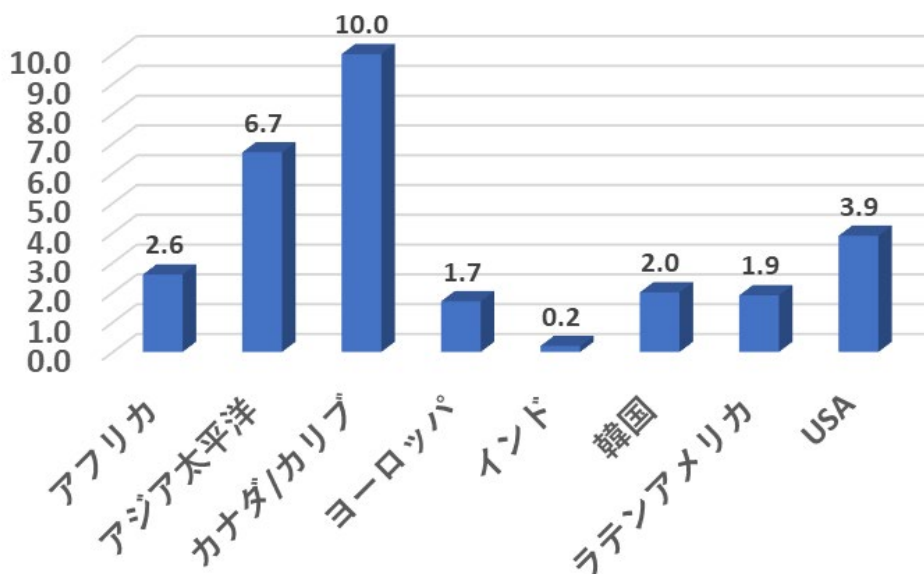


- 2023-2024 ひとり当たり献金
トップ 5 区 (エリア名)**
- ① 沿岸区 (カナダ/カリブ海諸国) 11.4
 - ② 台湾区 (アジア太平洋) 11.2
 - ③ 中央 & 西カナダ区 (カナダ/カナダ/カリブ海諸国) 8.8
 - ④ 太平洋南西区 (アメリカ) 7.7
 - ⑤ 南大西洋区 (アメリカ) 7.6

こちらをクリックするとビデオが見られます

2023/2024 エリアからのBF 献金 (ひとりにつき)

アフリカ	アジア太平洋	カナダ/カリブ	ヨーロッパ	インド	韓国	ラテンアメリカ	USA	全世界
2.6	6.7	10.0	1.7	0.2	2.0	1.9	3.9	2.2



イエスの宣言

ビリー・モルガード

キリスト教強調国際事業主任



ルカによる福音書4章16節から30節には、いわばイエスのマニフェスト(宣言)が書かれています。言い換えれば、非常に重要な文章です。私たちは、イエスが少年時代に住んでいたナザレの町に帰ってきたことを聞いていました。いつものように、地元の教会、ユダヤ人が教会と呼ぶ会堂(シナゴグ)に礼拝に行きました。会堂では、特定の司祭や書記が聖書を読み、説教をするのではなく礼拝者が交代で行います。

朗読と説教の時が来て、イエスは自ら申し出て、イザヤ書の一節を選ばれました。イエスが読まれた箇所はそれほど長くないので、それを見てみましょう:「主の霊が私に臨んだ。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主が私に油を注がれたからである。主が私を遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、打ちひしがれている人を自由に、主の恵みの年を告げるためである。」抑圧されたユダヤ人を励ますものがあるとするれば、それは、イエスが今読んだ文章でした。確かにユダヤ人の生活はローマ帝国の支配下にありましたが、預言者イザヤは、いつかすべてがうまくいくと約束していました。そしてイエスは、巻物を閉じ、皆の目がイエスの口を見まら。これから説教が始まるのである:「いつかは……」。

そしてイエスは予想外のことを行われました。彼は言いました:「今日、今日、あなたがたの聞いたことがすべて実現した!」。一瞬、彼らは安堵した。

「いつかは」ではなく、「今日」と言われたのでした。しかし、その後、彼らは誰が話しているのか考えるようになりました。彼はただ、大工のヨセフの息子でした。彼は何を想像していたのでしょうか。イエスが不思議なことをしたというのは聞いていましたが、それなら、せめて自分が子どもだったこの町で、それを示すことができるでしょう。

イエスは、自分が特別な存在であることを証明しなければならないことを理解していましたが、その前に彼らに警告しました。ご存じのように、預言者は、その出身地ではそう簡単には認められません。彼らが今言われたことに満足するかどうかは定かではありませんでした。

イエスが用いた証明はとてもシンプルなもので、彼らがすでに知っていた二つの小さな物語に過ぎませんでしたが、それが今、神の恵みとは何であるかに大胆不敵な光を当て、より詳細に説明したのです。「預言者エリヤの時代、イスラエルに飢饉があり、人々は飢えていた。しかし、神が預言者に命じて滞在させた異邦人のやもめでは、小麦粉は壺から漏れず、油は鍋から漏れなかった。」

イエスによって語られた2番目の物語は、それ以上のものでした。

「預言者エリシャの時代、イスラエルにはらい病に苦しむ者が大勢いた。神は彼らを病気で死なせたが、一人は癒された。ナアマンというシリアの異邦人だった。彼は神のことを多分何も知らない者であった。神の恵みの年であった。」「神は憐れみ深い者に憐れみ深い。イスラエル人だけではない。敬虔な本物のユダヤ人だけでなく、神がお望みなら、誰であろうと救われる。つまり、私たちのような人間もだ。」

その話を聞いたユダヤ人は、非常に怒りました。恵みの年というべきことなのか。ユダヤ人たちは、イエスの言葉が気に入らなかったのですが、よく考えてみると、この文章は、ユダヤ人だけでなく、私たち全員にとって驚くべきものです。

ここでイエスは、ユダヤ人だけでなく、すべての人を救うために来られた、期待されたメシアであると言っています。イエスは、本当にすべての人のために心地よい福音を携えて来られたのです。

実際、ギリシャ語の「福音」は「楽しい良い知らせ」を意味します。本文(ルカ4:16-30)は、彼が何故やってきて、何をやるべきか、何を行いたいかを述べていることにより、イエスのマニフェストと呼ぶことができます。彼は、神の国を宣べ伝えるのであり、それは私たち皆のために定められています。そして、私たち全員を救ってくださいます。イエスのメッセージは、旧約聖書のイザヤ書のテキストに、イエスが読み、説明した以上の何かがあることに気づくことによって、さらに素晴らしいものとなります。それは、「.....主からの恵みの年と、私たちの神からの復讐の日とを宣べ伝えよ」というものです。最後の一文の「私たちの神からの復讐の日」。イエスは、その一文を飛ばしました。読まれませんでした。

なぜでしょうか。イエスは神について、ユダヤ教の聖書に書かれていることとは違うことを私たちに伝えたいからでした。最初のクリスマス以来、神の復讐は、「愛」と呼ばれています。神は、もはや復讐の神ではありません。神は、愛の神なのです。イエスの説教には自由があり、私たち貧しく虐げられた人々への喜びと幸福の良きメッセージがあります。



ナザレの街には、今日、中東で最も大きな教会があります。この塔は、イエスを「世の光」として示す灯台のようなものです。

YMI

世界の写真



アフリカ

レソトワイズメンズクラブのチャーター



アジア太平洋

台湾・台中市、エバーグリーンクラブの
コミュニティーサービス

ヨーロッパ

モルドバクラブのチャーター

セント・ピーターズブルグのW4W

デンマークの蚤の市



YMI

世界の写真

インド

インド南西区、クーノークラブが恵まれない人に食事を提供



インド中西区のユースキャンプ



中東区のユースキャンプ



韓国

カンボジアでのYMIドクター



米国

北大西洋区がHABITAT FOR HUMANITYと協働